

第2回仁淀川清流保全推進協議会における委員の主な発言について

日時 平成24年1月20日（金）10:00～12:00
場所 すこやかセンター伊野 1階会議室

議題

1. 仁淀川一斉清掃の評価について

○実施日：平成23年10月22日（土）

・下流域部会の会場となった波川公園は、普段から清掃がされているためか、比較的きれいであった。下流域の方がゴミが多いが天候・集合場所をどうするのかという課題はある。住民の参加意識を高めていくことが大事。清掃していることが、目につくようにしていくことも大事。

衛星で見たら川でゴロゴロ動いているのが分かる位になればおもしろい。

・大きいゴミは拾えなかったので、軽四で動きながら集めることができればいいか。製紙工業会では以前 川の清掃とカヌー教室を開催していた。今年から植林する取り組みに変える予定。

・清掃だけでなく、何か楽しめるイベントを開催したらどうか

・土、日曜日は色々用事を控えていると思うので、河口部会は7時から開始したように、清掃の開始時間を早めるなどを検討してはどうか。

・受付を置き、ゴミ袋や手袋を渡してくれた。分別もわかるようにしてくれており、気持ちよくゴミ拾いができた。こうゆう細かい配慮が大事と感じた。メッセージを書いてもらうことも良かった、今後も続けていくことが大事。

2. 仁淀川シンポジウムについて

○日時：平成24年2月4日（土） 午後1時～

○場所：すこやかセンター伊野 1階大会議室

・仁淀川流域での色々な取組などを持ちよって出してもらいたい。

- ・シンポジウムは色々な意見が出される場がいいが、主眼は「仁淀川はいかにあるべきか」である。川の問題は山の問題でもあり、ゴミ拾いは手段。協議会としては、進むべきベクトルを示す必要があるのでは。

3. 来年度のスケジュールについて

○来年度の仁淀川シンポジウムの内容やその他の取組み

- ・県の事務局も一斉清掃、シンポジウムの開催となかなか大変だと思う。協議会の役割は会の進むべき方針を決定し、具体的な細かいことは部会で話し合いを。
- ・各部会で、取組が行われ盛り上がっていき、協議会がサポートするのが理想的か。
- ・事務局として、何をしたいのかが出されていないようだが。仁淀川流域では広域観光の取組が進められており、それと連携していくことが現実的では。
- ・河川敷における川の駅構想について。河川法上構造物を建てることは無理であり仮設でかつすぐに移動できるものでなければならないので、難しいのでは。
- ・県としては、清流保全活動を行う団体をサポートして、団体のモチベーションが上がればいいと考えている。

4. その他

○流域での取組み

- ・仁淀川における近自然工法の勉強会が、今日の午後開催され、その内容についてと県と清流保全パートナーズ協定を締結している高知食糧より、平成23年度活動支援として2団体への寄付が先日あり、現在平成24年分の助成団体を募集していることが報告された。